



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日:毎週水曜日 PM12:30~
 例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーザ石井1F
 Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 牛山 裕子
 副会長 須山 文夫
 幹事 水口 衛
 SAA 松本 和晃

第2143回（本年度 第44回）一泊移動例会 平成29年6月14日 一晴一

- 司 会 中村 孝親 睦活動委員長
- 点 鐘 牛山 裕子 会長



- 齊 唱 「奉仕の理想」
伊藤 佳子 ソングリーダー



会長報告 牛山 裕子 会長
 次回まとめてご報告いたします。

幹事報告 水口 衛 幹事
 活動報告書に関して、対象の方は提出をお願い致します。

出席報告 須山 文夫 副会長
 次回まとめてご報告いたします。

スマイルレポート（ニコニコボックス）
 須山 文夫 副会長

本日のニコニコのテーマ
 「皆さんで一泊移動例会を楽しみましょう。」
 というテーマで一律1,000円のご協力をいただきました。



会葬御礼 鈴木昇二 会員

- 点 鐘 牛山 裕子 会長

本日は、一泊移動例会です。
 場所は「竜宮城 ホテル三日月 富士見亭」です。
 まずは、乾杯です。
 竹田 P P 宜しくお願いします。



最後は岩井次年度会長の挨拶でお開きとなりました。
 出席された方々には大変満足していただいた様です。
 中村委員長お疲れ様でした。



日時：平成29年6月28日(水)は
 通常例会
 「会長・副会長・幹事退任挨拶」

クラブ
 委員会
 報
 告

小林 勇次/秦 琢二/沼田 直輝



ハイライトよねやま 2017

2017年6月12日発行

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 今年度の送金はお早めをお願いします —

5月までの寄付金は前年同期と比べて8.7%減（普通寄付金0.5%増、特別寄付金12.8%減）、約1億2千万円の減少となりました。累計額は依然として前年度より下回っていますが、5月単月では前年度に比べて約300万円増加しました。

2016-17年度も残り半月です。普通寄付金を上期・下期ともにまだご送金いただいていないクラブが36クラブ（6月8日現在）あります。今年度の寄付実績は6月30日（金）までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。普通寄付金・特別寄付金の送金は、日程に余裕を持ってお送りください。ご協力よろしくお願いたします。

第2回次期地区米山奨学委員長セミナーを開催

2017-18年度地区米山奨学委員長対象の第2回セミナーを5月31日、都内で開催しました。今回のセミナーは『どんな奨学生を採用し、どのように育てるか』をメインテーマに、安増惇夫理事がファシリテーターとなって、全体会議の形式で進められました。サブテーマ毎に、独自の取り組みを行う地区からの事例発表（下記参照）や意見交換が行われました。



- 三者懇談会で奨学生、カウンセラー、指導教員の理解促進（高橋博文 第2580地区次期米山記念奨学委員長）
- 「大学の理解促進」大学説明会で意見交換会（田中隆弥 第2660地区次期米山記念奨学委員長）
- 「カウンセラーの育成」ハラスメント研修の義務づけ（秋吉 実 第2720地区米山記念奨学委員長）
- 「寄付増進」寄付者の裾野を広げる（磯田隆雄 第2650地区次期米山記念奨学委員長）

今回は初の試みとして、グループディスカッションを設けず、すべて全体研修で進める形を取りました。「全員が同じ事柄について議論できて良かった」という意見がある一方、時間の制限から十分な発言ができたとは言えず、気軽に発言できるグループディスカッションを望む声を多くいただきました。アンケートのご意見を参考に、今後のセミナー形式や内容を検討してまいります。

理事会開催報告 — 来年の採用数は40人増の820人に —



6月6日に第17回理事会が開催され、全国から28人の理事と監事1人が出席しました。

主な議題として、2017学年度採用の件、2018学年度奨学生採用数と募集要項の件、2017年度の事業計画案および収支予算案の件、2017年度資産運用方針の件などが審議されました。すべての議案は原案通り承認され、50周年記念の特別事業費を含む収支予算、また、2018学年度の奨学生採用数は前年度比40人（枠）増の820人（枠）とすること、2018学年度も海外応募者対象奨学金の募集採用を行うことなどが決定しました。

モンゴル米山学友会総会に日本から 80 人が参加

モンゴル米山学友会の総会が5月14日、ウランバートル市内で開かれ、学友40人、来賓9人、日本からは当会の小沢理事長を含めロータリアンが約80人参加する盛会となりました。



総会では、年間の活動報告につづき、同学友会の「2016年度最優秀会員賞」にトゥメンデルゲル・バヤンバットさんが表彰されました。また、役員が改選が行われ、新会長にはシルネン・ブヤンジャルガルさん、幹事にトゥメンデルゲルさん、ほか8人の理事が就任しました。

ブヤンジャルガル新会長は、「モンゴルのロータリークラブにわれわれ学友会の活動をもっとPRし、日本のクラブとの懸け橋になって、米山奨学金の情報を広く提供していきたい」と抱負を語り、学友会の発展を誓いました。また、今回の訪問中、当会小沢一彦理事長がモンゴル国大統領からナイラムダル（友好）勲章を授与され、「この名誉ある叙勲は私個人ではなく、日本のロータリアンが支えるロータリー米山記念奨学事業へいただいたものだと思っている」と、感謝の言葉を述べました。

米山翁の思いを伝える植樹に奨学生らが参加—青森RC—

「日本のロータリーの父」であり「奉仕の人」と呼ばれる米山梅吉翁は、晩年、三井報恩会を設立し、初代理事長として多くの社会貢献事業に奔走します。特に思いを寄せたのは、当時、社会から疎外されていたハンセン病の患者たちでした。自ら調達した見舞い品を携えて、米山翁は青森から沖縄まで、当時の療養所すべてを訪れたと伝えられています。

青森市にある「国立療養所 松丘保養園」も、米山翁が三井報恩会を通じて多大な支援をしたハンセン病療養施設の一つ。青森RC（第2830地区）では米山翁の思いを語り継ごうと、3年前から同園内の緑化推進に協力し、植樹事業を始めました。6月3日に実施された第4回植樹活動には県内から約90人が参加。青森RC会員のほか、町内会有志や同地区ローターアクター、米山奨学生5人とその友人など、さまざまな世代・国籍の人が集い、ハナカイドウ、百日紅の木を園内に植樹し、昨年植えた樹木の周りの除草作業に汗を流しました。これが初めての奉仕活動という米山奨学生のシーズン、アピラーパーさん（タイ/2017-18/青森RC）は、「活動を通じて、いろいろな人と交流ができて本当に楽しかった。自分が植えた木がどのように成長しているか見たいので、来年もぜひ参加したい」と、語りました。



感謝 in 熊本 にぜひご参加ください！

財団設立50周年を記念し、世界の米山学友が主催するイベント、「感謝 in 熊本」が開催されます。米山奨学生、国内外の学友はもちろん、ロータリアンやご家族の参加も歓迎いたします。ふるってご参加ください（要事前登録）

日時：2017年8月26日（土）17:00～21:00（16:00受付開始）

会場：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

登録費：ロータリアン：10,000円、米山学友・奨学生：5,000円、友人・ご家族：6,000円

詳細は当会HPをご覧ください

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)